




「やまぐちデジタル改革基本方針」 に基づく取組の進捗状況について

- 1 DX推進体制の整備
- 2 「施策の3つの柱」の取組状況
 - (1) 「やまぐちDX」の創出
 - (2) 「デジタル・ガバメントやまぐち」の構築
 - (3) 「デジタル・エリアやまぐち」の形成
- 3 各分野の主な取組状況
- 4 令和3年度「デジタル・魁プロジェクト」の進捗状況

1 DX推進体制の整備

(1) CIO補佐官の設置(CIOミーティングの定期開催)

 <p>関 治之 氏 《一社コト・フォー・ジャパン》</p>	<ul style="list-style-type: none">① デジタル改革推進の着眼点等(合同ミーティング)② シビックテックの具体的・実効的な進め方等 ⇒ ①②を踏まえ「シビックテック チャレンジ YAMAGUCHI」を創設③ 地方の中小企業におけるDXの推進④ 行政におけるDX推進人材の育成
 <p>砂金 信一郎 氏 《LINE(株)》</p>	<ul style="list-style-type: none">① デジタル改革推進の着眼点等(合同ミーティング)② デジタル化推進に向けたコミュニティづくり ⇒ ①②を踏まえ「デジテック for YAMAGUCHI」を発足③ インフラに関する各種データの蓄積・活用手法④ SNS・AIを活用した結婚・子育て支援
 <p>中井 陽子 氏 《日本マイクロソフト(株)》</p>	<ul style="list-style-type: none">① デジタル改革推進の着眼点等(合同ミーティング)② 個別最適学習に向けたビッグデータの活用手法③ ICTを活用した教育の推進(マイクロソフト米国本社副社長と意見交換) ⇒ ①②③を踏まえ「教育データの活用に関するワークショップ」を開催④ 観光分野におけるデジタル技術の活用

(2) DX推進官民協働フォーラム「デジテック for YAMAGUCHI」の発足

デジタル技術を活用して、山口県が抱える地域課題の解決や新たな価値の創造を持続的に行うため、シビックテック的活動からビジネス的活動まで幅広く取り組む官民連携の会員制組織を6月10日に発足し、会員相互の交流や主体的活動を促進

デジテック
for YAMAGUCHI



共に考え、挑戦し、克服したいテーマ



少子高齢化



中山間地域



若者流出

会員：デジテック・パートナー

「デジテック for YAMAGUCHI」は地域課題の解決や新たな価値の創造に向け、共に考え、共に挑戦していく皆さまを広く募集します。(団体でも参加可。会費無料)
※デジテック・パートナーの登録はWEBサイトよりお申込みください。



WEBサイト <https://digitech-ymg.org>

会員交流



情報発信



このような方をお待ちしています

- 1 山口県を応援したい方・山口県に貢献したい方
山口県にゆかりや関心があり、アイデアをお持ちの方など
- 2 自身のデジタル技術を社会に役立てたい方
エンジニア、データサイエンティストやそれを目指している方など
- 3 課題を抱えている行政、団体、企業等に属する方
デジタル技術に関心があり、課題解決に採り入れたい方など

⇒ 8月29日現在会員数：439(個人362、企業・団体77)

(3) デジタル・ガバメント構築に向けたワーキンググループの設置

「山口県デジタル・ガバメント構築連携会議」に、行政手続のオンライン化や情報システムの標準化・共通化、RPA等の共同利用に関するワーキンググループを設置し、県・市町が連携した取組を推進

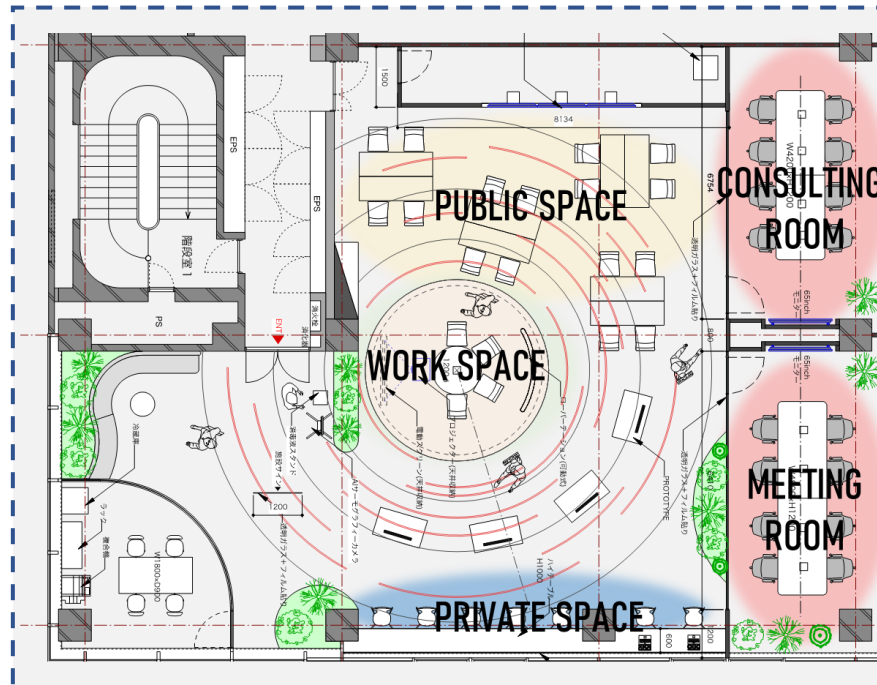
2 「施策の3つの柱」の取組状況

(1) 「やまぐちDX」の創出

やまぐちDX推進拠点の整備

デジタルに関する相談対応やコンサルティング、技術サポートを実施する「やまぐちDX推進拠点」の整備に着手 ⇒ 今秋オープン予定

5G環境を整備し、DX推進拠点の機能を強化
⇒ 株NTTドコモと協定締結



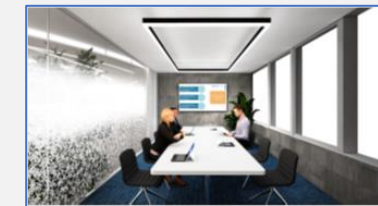
ENTRANCE



WORK SPACE



CONSULTING ROOM



MEETING ROOM

シビックテックの推進

スタートアップ企業等と行政・県民が協働して、デジタル技術で地域・行政課題を解決する「シビックテック チャレンジ YAMAGUCHI」を実施



聴力の弱い方ともスムーズな意思疎通ができる相談支援ツールの開発



全長1,200kmの市道メンテナンスを官民まるごとDXしたい！



近くの公民館（出張所）をもっと便利に。誰もが使いやすいオンライン窓口を作りたい！



スマホで完結！粗大ごみ申込の市民負担を減らすツールの開発



シビックテックチャレンジ
YAMAGUCHI



衛星・ドローンを活用し、農地の作付状況をスマートに把握したい！



主要観光地の訪問者数をタイムリーに把握し、観光対応に活かしたい！



ナッジやゲーミフィケーションで、子どもたちの環境学習を行動変容につなげたい！



通行止め情報をリアルタイムでお知らせしたい！

⇒ 8課題に対して、48社が応募

オープンイノベーションの実施

フォーラムの会員同士がノウハウや技術等を持ち寄り、県内をフィールドとした実証実験等を行い、新たなソリューションなどの先導的事例の創出を目指す「デジテック・オープンイノベーション」を実施



⇒ 4件応募

データドリブンの推進

政策立案の実効性を高めるデータ利活用手法を習得する「山口データアカデミー」を開催（対象：県・市町職員）



上期(7～9月)実施テーマ

- 中山間地域
- 農業
- 防災

⇒ 8市町・県の職員54人が受講中

(2)「デジタル・ガバメントやまぐち」の構築

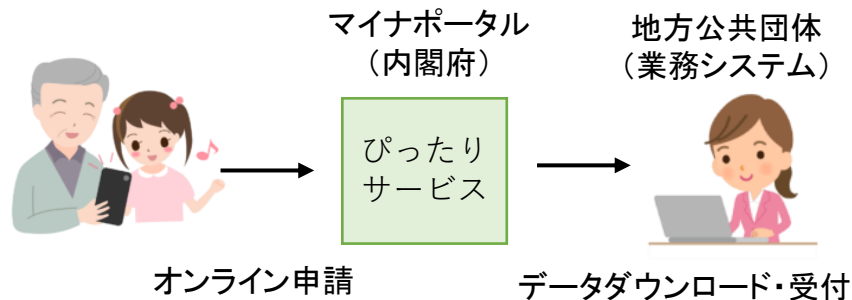
行政手続のオンライン化

押印の原則廃止と書面規制の見直しを着実に実行し、行政手続のオンライン化を推進

⇒ 県関係手続について、申請件数ベースで約7割をオンライン化(今後、対象手続を更に拡大)

特に国民の利便性向上に資する市町手続(子育て・介護関係等)については、令和4年度末までにマイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン申請が可能となるよう、市町の取組を支援

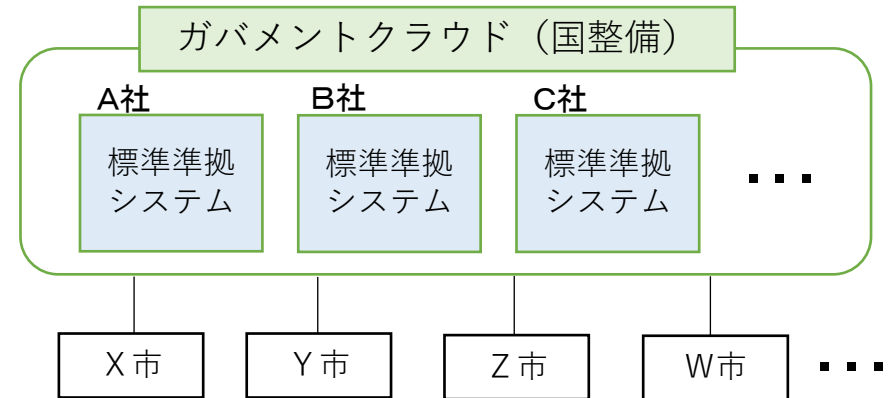
⇒ ワーキンググループによる検討



情報システムの標準化・共通化

国が定める基幹系17業務※について、目標時期(令和7年度)までに、ガバメントクラウド上で事業者が提供する標準準拠システムへ移行できるよう、市町と情報共有等を図り、計画的に推進

⇒ ワーキンググループによる検討

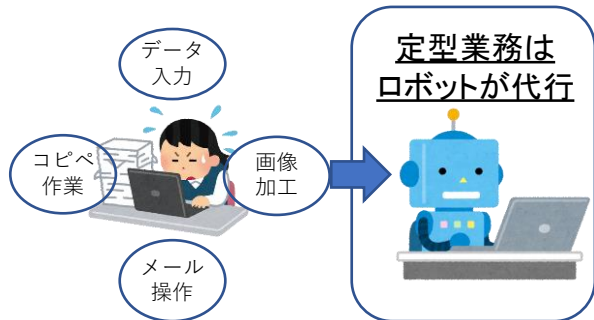


※住民基本台帳、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、就学、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、障害者福祉、生活保護、健康管理、児童手当、児童扶養手当、子ども・子育て支援

AI・RPAの活用

定型業務を自動化するRPAや、議事録作成支援システム等のAIを順次導入

⇒ RPA:20業務(R3予定)



令和3年度からは、市町との共同利用も推進

⇒ ワーキンググループによる検討。
6月からは、議事録作成支援システムの共同利用を開始

デジタル・ワークスタイルの実践

デジタル技術を最大限に活用し、テレワーク、ペーパーレス協議の実践や、Web会議の活用を促進

⇒ Web会議環境の整備(共用会議室)
Web会議室の増設(現在計5箇所)

<デジタル推進局での実践>



フリーアドレススペース等の執務環境を整備し、デジタル・ワークスタイルを実践



オープンデータの推進

「山口県オープンデータカタログサイト」の充実を図るとともに、「オープンデータ作成マニュアル」を作成し、4月に市町へ周知

(TOPページ)



山口県オープンデータカタログサイト

データセット検索



データカタログへ

354
データセット

14
カテゴリ

115
タグ

【山口県】新型コロナウイルス感染症の山口県内での発生状況

新型コロナウイルス感染症の山口県内での発生状況です(随時更新)
・陽性者属性・検査実施人数・入退院死亡数・相談件数

データとリソース

陽性者属性 (令和3年8月5日時点) 取得






検査実施人数 (令和3年8月1日時点) 取得

入退院死亡数 (令和3年8月5日時点) 取得

相談件数 (令和3年8月1日時点) 取得

⇒ 「政府推奨データセット・基本編」を6月に公開(中国5県初)

(3)「デジタル・エリアやまぐち」の形成

デジタル人材の確保	デジタル人材の育成	デジタルリテラシーの向上
<p>CIO補佐官3名(上述のとおり)及び未来技術活用統括監を配置、情報職7名を採用</p> <p>高い専門性を有する兼業・副業人材をアドバイザーとして委嘱</p> <div data-bbox="99 634 327 861">  <p>未来技術活用統括監</p> <p>田中 貴光 氏 《西日本電信電話(株)》 ICT施策の企画立案等 アドバイザー</p> </div> <div data-bbox="99 872 327 1099">  <p>田中 幸史 氏 《(株)駅探》 UI・UXに関する助言等 アドバイザー</p> </div> <div data-bbox="99 1110 327 1338">  <p>水田 千恵 氏 《ヤフー(株)》 コミュニティに関する助言等</p> </div>	<p>○ AI開発技術等を学習するAI人材育成講座「やまぐち AI Quest」を実施 ⇒ 183名が受講中</p> <p>○ 高校生を対象に「やまぐち高校生データサイエンティスト育成講座」を開催 ⇒ 39名が受講中</p> <div data-bbox="727 694 1334 1068"> <p>スキル・目的によって選べる2つの講座</p> <div data-bbox="747 743 1313 891"> <p>実践 Quest さまざまな業界が抱える課題を実践的に学ぶ</p> <p>実際の分析プロジェクトに見立て、実践的なAI/データサイエンススキル獲得を目的とした疑似体験講座</p> </div> <div data-bbox="747 911 1313 1058"> <p>基礎 Gym AIリテラシーを要素単位で基礎から学ぶ</p> <p>AIに関連する幅広い知識を単元別に学び、AI・データサイエンススキル向上を目的とした基礎訓練用講座です。</p> </div> </div> <p>○ 県内企業や学生を対象として、県と山口大学が連携した「データサイエンス講座」を開催 ⇒ 33名が受講中</p> <div data-bbox="1189 1148 1328 1319">  <p>YAMAGUCHI UNIVERSITY 山口大学</p> </div>	<p>国のデジタル活用支援の枠組み等も活用した、高齢者等のデジタル活用をサポートする全県的な体制を構築</p> <p>県、市町、携帯電話通信事業者等による情報・意見交換の場の設定など、地域における効果的なデジタルデバйд対策の推進に向けた取組を実施</p> <div data-bbox="1355 843 1955 1219">  <p>デジタル活用支援推進事業とは？</p> <p>高齢者はデジタル活用が難しいと感じる方が多く、デジタル活用支援事業を通じて、高齢者のデジタル活用を支援し、生活の質を向上させることを目指しています。</p> <p>デジタル活用支援推進事業の取組は、こちら</p> </div> <p>⇒ 9月に全県的な体制を構築予定</p>

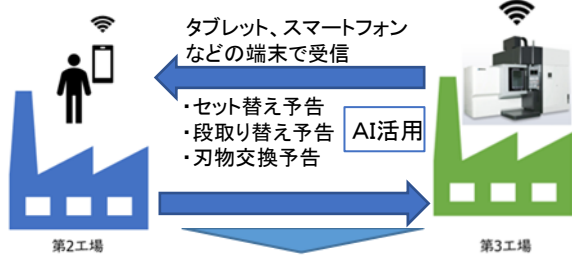
3 各分野の主な取組状況(実証実験・社会実装の例)

産業維新

製造業

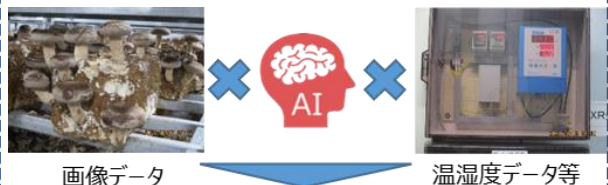
中小製造業の人手不足や生産性向上等の課題解決を図るため、スマートファクトリーモデルを創出

○AIとIoTを活用した工作機械の異常検知・予知保全システム構築



工具等の異常検知、予知保全システムの構築

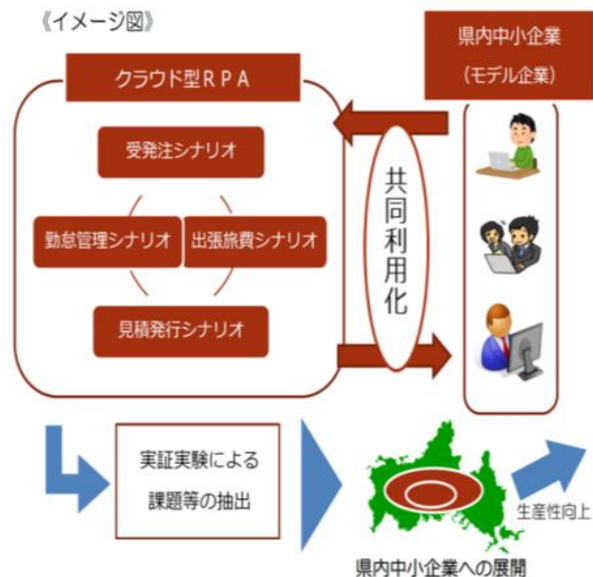
○AIを利用した菌床椎茸の生産管理の効率化



生育予測システムの構築

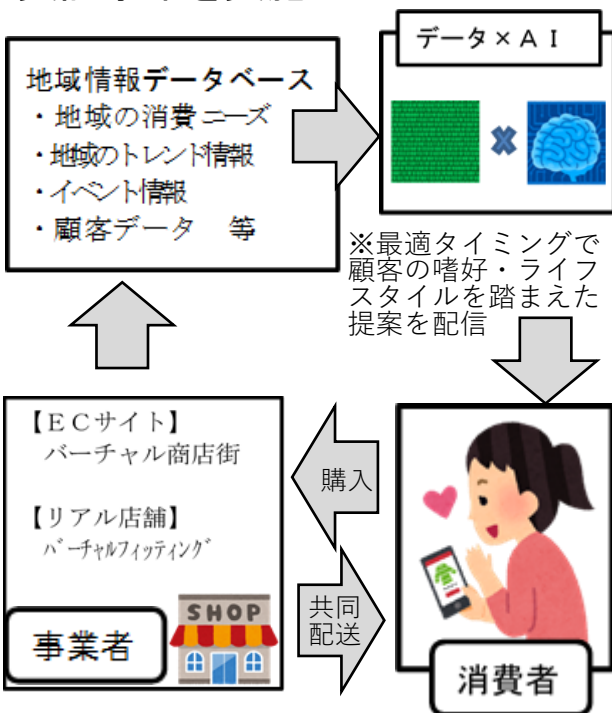
中小企業

中小企業の生産性の飛躍的な向上を目指すため、複数の中小企業がクラウドサービスを活用し、RPA導入に係る共同シナリオ作成などコストダウンを図る実証実験や課題検証を実施



商店街

店舗の集客力など商店街が抱える課題の解決を図るため、デジタル技術を活用した地方商店街のビジネスモデル創出に向けた実証事業を実施



産業維新

農林水産物販促

量販店等にデジタルサイネージ(電子看板)を設置し、多彩な県産品情報の発信により、来店者の県産品への興味を喚起するとともに、非対面による販促活動を充実、店舗でのPRを強化

《ぶちうま!情報ステーションDX》

タッチ式コンテンツ

アイコンをタッチしてね!



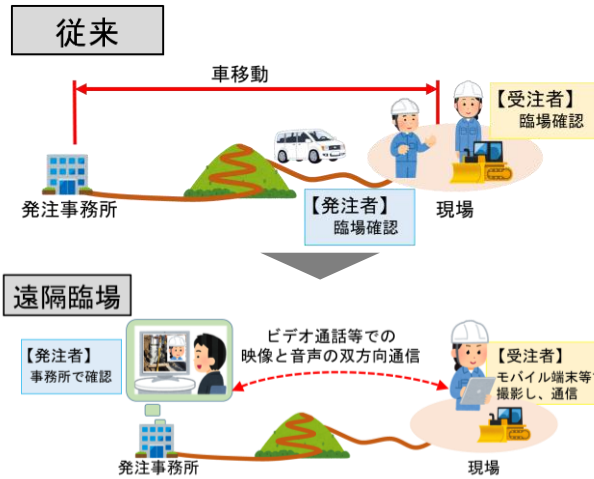
アイコンをタッチすると見たいコンテンツが選べる(産地ライブ配信、クイズ、図鑑、電話質問など)

- ・店舗ごとに、旬の食材等の動画やレシピを予約配信
- ・リアルタイムで配信コンテンツの編集も可能
- ・AIが自動で消費者ニーズを収集

⇒ 8月6日から運用開始
県内120店舗に設置

建設

公共工事に係るリモート現場管理の推進により、建設現場の生産性を向上、就労環境を改善



⇒ 約9割が業務効率化を実感

大交流維新

二次交通

「山口市産業交流拠点施設」を核とした交流人口の拡大に向け、新山口駅から山口、萩、長門の各エリアを対象に、やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」を活用したタクシーツアーの運行や超小型モビリティ・電動バイクのレンタルなど新たなモビリティサービスの実証事業を実施



大交流維新

生活維新

文化・芸術

県内外からの美術館への誘客や地域周遊の促進に向け、雪舟の国宝水墨画の世界に入り込める体験ができる「5GVR」など、最先端技術を活用した展示による美術鑑賞機会を提供

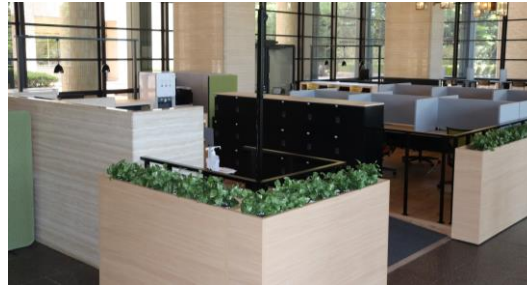


県内の学校と美術館を結び、美術作品をテーマに学芸員が双方向授業を行う「5Gアートスクール」を開催



還流・移住

本県への新しい人の流れを生み出す「転職なき移住」や「新しい働き方」等を実践する環境を整備
《県庁テレワークモデルオフィス》
(YY!SQUARE)



⇒ 7月27日オープン

《空港ワーケーション推進拠点》
(YY!GATEWAY)



⇒ 8月3日オープン

結婚

やまぐち結婚応縁センターにおいて、利用者がいつでもスマートフォンから非対面・非接触でお相手を探せるなど、利便性が格段に向上した新たなマッチングシステムの運用を開始

- 主な新機能のポイント
スマホで会員登録・お相手探し
AIがお相手探しをサポート



⇒ 7月1日から運用開始

生活維新

働き方

中小企業の働き方の新しいスタイルの実践・定着に向け、テレワーク、ウェブ会議の継続的な利用促進やデジタル技術を活用したワークプレイスの取組事例(実践モデル)を創出



ウェブカメラの店舗設置による
店長会議・臨店のリモート開催



電子黒板によるオンライン会議、
バーチャル工場見学ツアー



教育①

障害や入院等で長期間通学できない児童生徒へ分身ロボット「OriHime」(5台)を整備し、病室等から教室の授業へ参加
1人1台タブレット端末を活用して、教室の授業をリアルタイムで視聴

⇒ 6月から運用開始



不登校等の児童生徒が、学校に配置されたスクールカウンセラーと直接会えない場合でも、相談・カウンセリングを受けることができるよう、1人1台タブレット端末等を活用して、オンラインによる相談やカウンセリングを行える体制を整備

⇒ 4月から運用開始

教育②

テレビ会議システムや1人1台タブレット端末を活用して、選抜性の高い大学の進学に必要な高度な知識・技能の育成を図るため、ハイレベル課外授業を実施

⇒ 8月16日から授業開始



生徒の意欲やスキルに合わせた資格取得を推進するため、1人1台タブレット端末を活用して、複数校が同時に受講可能な資格取得に関するオンライン講座を実施
⇒ 5月27日から講座開始

生活維新

医療

県立総合医療センターと岩国市立美和病院を5Gで繋ぎ、実際の患者を対象とした遠隔サポートを実証実験(胃カメラ検査)

通常診療に5Gとアノテーション機能を取り入れた全国初の取組



⇒ 実証実験の対象を今後拡大

暮らしの安心

AI技術を活用したSNS内の巡回等により、県内の大麻関心層(大麻の隠語等のキーワードを検索・投稿している者)に対し、自動的に警告動画等を配信し、大麻の違法性等を強く訴えかけ、乱用の未然防止を図る

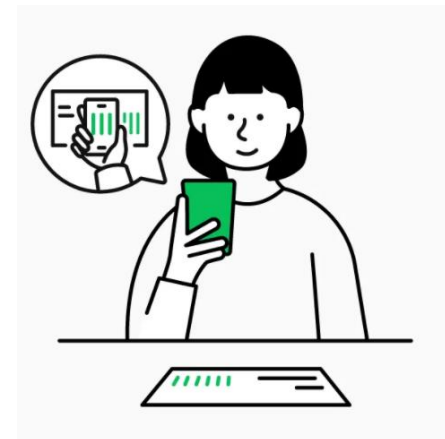


⇒ 7月28日から動画配信

県税納付

納付書に印刷されたバーコードをスマートフォンで読み取ることで、県税を納付

金融機関、コンビニエンスストア、県税事務所にし向かなくても「いつでも、どこでも」納付が可能



⇒ 4月1日からキャッシュレス収納を拡大

4 令和3年度「デジタル・魁プロジェクト」の進捗状況

<p>①「デジタル de 子育て支援」 推進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 県民からの問合せに24時間365日対応する「子育てAIコンシェルジュ」のシステム構築に向け、市町等からの意見聴取など取組を開始➤ 「つながるやまぐちSNS相談事業」により、子育てに悩みを抱える保護者や子ども自身からの相談を24時間365日受け付けるSNS相談窓口設置に向け調整中
<p>②「やまぐちスマートスクール 構想」推進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 県内高校生を対象として、学習活動で日常的にICTを活用した実践例や、ICTを活用したアート作品、プログラミング成果物等を評価するコンテストに向けたワークショップを開催➤ データサイエンティストを目指す高校生への学習の場の提供を目的として、高校生向けのデータサイエンティスト育成講座を開講➤ 県立学校のICT環境を活用し、海外等の教育機関との遠隔授業や生徒間交流を行うためのコーディネーター派遣を希望する参加者・参加校を募集➤ 山口博物館所蔵品のデジタル化及びデジタルコンテンツの制作に着手➤ 新たな教育提供体制を整備する私立高等学校等におけるICT機器・設備の整備及び専門的人材の配置等に対する支援を実施
<p>③「日本一の安心・安全インフラ」実現プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 河川の変状箇所早期発見等を図るため、衛星やドローン等の活用方法の検討に着手➤ 離島架橋など特に重要な構造物について、AIを活用した迅速かつ確実な点検・診断を図るため、3次元モデルの作成やひずみ計・変位計等による定期計測等のための条件を整理中➤ 小規模橋梁の変状箇所早期発見等を図るため、AIを活用した点検・診断システムを構築中➤ 建設現場の生産性向上を図るため、3次元モデルの活用促進に向け、県内企業へのニーズ調査等に着手

<p>④「未来を切り拓く中堅・中小企業DX」促進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ やまぐちDX推進拠点について、今年度秋頃のオープンを目指して整備に着手するとともに、拠点の機能強化に向け、5G利用に関する協定を締結 ➤ ものづくり企業のDXに向けた取組を促進するため、オンラインセミナーや先進デジタル機器の展示体験会を実施 ➤ 生産性向上や既存ビジネスの変革等を目指した情報処理システム構築への補助を創設、DXを通じた革新的な生産性向上等に必要な資金を創設 ➤ 働き方の新しいスタイルの実践・定着に向け、テレワーク等の継続的な利用促進やデジタル技術を活用したワークプレイスの取組事例の創出を図るため、モデル企業に対する補助を実施
<p>⑤「地域を支えるスマート農林水産業」加速化プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ デジタル技術を活用した新たな販促手法となる「やまぐち ぶちうま！アプリ」の開発に着手 ➤ 円滑な経営継承に向けた、モデル産地での農業経営資産のデジタル化に着手 ➤ 畜産農家と関係機関が一体となって牛の個体情報等を集約・管理するシステムの実装に向け、情報共有体制を構築 ➤ 森林資源の把握から木材の生産、再造林にわたる作業全般において複数のスマート技術をパッケージ化して実践する取組に着手 ➤ 漁獲情報等の生産から流通まで一貫したデジタル化を推進するため、関係者団体で構成する「スマート水産業社会実装推進協議会」を設置
<p>⑥「活力を高める移住・交流・関係人口」拡大プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「地方創生テレワーク」のモデルオフィスとして、やまぐち創生テレワークオフィス「YY！ SQUARE」（ワイワイ！ スクエア）を県庁内に設置 ➤ ワークーションの県内推進拠点として、やまぐちワークーション総合案内施設「YY！ GATEWAY」を、山口宇部空港内に設置 ➤ 県内観光事業者によるデジタルプラットフォーム（Google）を活用した情報発信やマーケティング支援をするための、登録の募集を開始 ➤ 「山口県立美術館」「萩美術館・浦上記念館」収蔵品のデジタル化及びバーチャルアートミュージアムの制作に着手

<p>⑦「みんなで解決！地域課題」チャレンジプロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ デジタル技術で地域課題の解決・新たな価値の創造に挑戦する会員制の組織「デジテック for YAMAGUCHI」を発足し、会員を募集するとともに、課題解決のための仕組みを構築 ➤ 「デジテック for YAMAGUCHI」のメンバー同士が地域課題解決・新たな価値の創造に向けて取り組む実証を支援する「デジテック・オープンイノベーション」の案件募集 ➤ 行政とスタートアップ企業等が協働して、デジタル技術で地域・行政課題を解決する「シビックテック チャレンジ YAMAGUCHI」に着手し、課題を選定して協働企業を募集
<p>⑧「データ＝価値創造の源泉」利活用促進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ やまぐちDX推進拠点における相談対応、DXコンサルティング、技術サポート等を行うためのICT環境である「Y-Cloud」と「山口県データプラットフォーム」の構築を開始 ➤ データを活用した施策立案などができる人材育成を目指した「山口データアカデミー」を開催
<p>⑨「誰でも・いつでも・どこでもデジタル」基盤整備促進プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 光ファイバ整備に対する支援制度の継続・拡充や、光ファイバ等の超高速ブロードバンドのユニバーサルサービス化等を国に要望 ➤ 携帯電話事業者が県有の施設・敷地を5G基地局の整備に活用できるように、施設のデータリストを県ホームページに公開中 ➤ 「5Gアンテナ基地局等設置ワンストップ窓口」において、県有の施設・敷地への5G基地局整備を希望する、携帯電話事業者からの問い合わせや現地調査等に随時対応中
<p>⑩「明日の社会を創るデジタル人材」育成プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 行政職員自らがアプリ開発等を行うことが可能になるローコード技術を活用した研修の開催に向け、事業者を選定 ➤ 生産性向上や既存ビジネスの変革等を目指す中小企業に向け、「DX入門 e-ラーニング」の受講企業の募集を開始 ➤ 高校生を対象としたデータサイエンティスト育成講座の開講やICT活用コンテストのワークショップを開催